



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東  
コード番号 3137 URL <http://www.fundely.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)阿部 公祐  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)杉田 雅治 (TEL)03(6741)5880  
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,204	11.2	351	9.1	347	7.7	212	3.0
27年3月期第3四半期	1,983	—	321	—	322	—	206	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	34.16	33.40
27年3月期第3四半期	34.32	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権残高はありませんが、平成27年12月31日時点では当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、平成27年6月25日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成28年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき普通株式30株の割合で株式分割を行っております。このため、平成27年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,659	1,360	82.0
27年3月期	1,335	936	70.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,360百万円 27年3月期 936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,939	10.1	468	6.7	451	3.2	271	4.6	43.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	6,325,500株	27年3月期	6,025,500株
28年3月期3Q	—株	27年3月期	—株
28年3月期3Q	6,233,864株	27年3月期3Q	6,025,500株

（注）当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき普通株式30株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、円安による輸入原材料等の価格上昇、消費税増税に加え、中国経済の不透明感の強まりに対する不安感から、引き続き景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売が順調に推移しました。また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託については、新規クライアントの開拓や既存クライアントの深耕を積極的に行うことで複数の案件を獲得し、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,204,787千円(前年同期比11.2%増)、営業利益は351,070千円(前年同期比9.1%増)、経常利益は347,073千円(前年同期比7.7%増)、四半期純利益は212,942千円(前年同期比3.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① MFD事業

当セグメントにおきましては、四季ごとに実施している商品入れ替えに伴う新商品の開発、また、当社の管理栄養士・栄養士が顧客の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力いたしました。また、当第3四半期会計期間におきましては、食事制限のある方にも安心してお召し上がりいただけるよう趣向を凝らした、当社の管理栄養士・栄養士による食事相談サポート付き「私のおせち」の販売が堅調に推移いたしました。さらに、当社をテーマとしたテレビ番組が放送された影響により、放送後の売上が好調に推移した結果、MFD事業における売上高は2,052,639千円(前年同期比13.4%増)、セグメント利益(営業利益)は447,422千円(前年同期比32.5%増)となりました。

#### ② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売が順調に推移しました。また、紹介ネットワークを活用した業務受託において、複数の案件を実施いたしました。当期中半に見込んでいた一部案件に規模縮小が生じた結果、売上高は152,148千円(前年同期比12.0%減)、セグメント利益(営業利益)は107,855千円(前年同期比14.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 総資産

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より323,511千円増加し、1,659,260千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加314,574千円並びに商品の増加75,055千円があった一方、売掛金の減少72,964千円によるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は前事業年度末より100,571千円減少し、298,894千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少10,000千円、未払法人税等の減少61,783千円、流動負債の「その他」の減少19,389千円によるものであります。

#### ③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より424,082千円増加し、1,360,365千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ105,570千円、利益剰余金の増加212,942千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成27年6月25日付「平成27年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	887,606	1,202,181
売掛金	219,124	146,160
商品	120,171	195,227
仕掛品	-	56
貯蔵品	1,008	724
その他	47,095	51,494
貸倒引当金	△181	△130
流動資産合計	1,274,826	1,595,713
固定資産		
有形固定資産	11,106	11,415
無形固定資産	10,086	8,315
投資その他の資産	39,729	43,815
固定資産合計	60,922	63,546
資産合計	1,335,748	1,659,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	89,322	88,409
1年内返済予定の長期借入金	10,000	-
未払法人税等	112,581	50,797
賞与引当金	16,673	8,135
その他	162,341	142,952
流動負債合計	390,919	290,295
固定負債		
資産除去債務	7,604	7,656
その他	942	942
固定負債合計	8,547	8,599
負債合計	399,466	298,894
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	165,450	271,020
資本剰余金	115,450	221,020
利益剰余金	655,382	868,325
株主資本合計	936,282	1,360,365
純資産合計	936,282	1,360,365
負債純資産合計	1,335,748	1,659,260

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,983,154	2,204,787
売上原価	896,666	951,528
売上総利益	1,086,488	1,253,259
販売費及び一般管理費	764,667	902,189
営業利益	321,820	351,070
営業外収益		
受取補償金	167	7,459
その他	580	694
営業外収益合計	747	8,153
営業外費用		
支払利息	288	23
株式公開費用	-	12,125
営業外費用合計	288	12,149
経常利益	322,278	347,073
特別損失		
固定資産除却損	-	2,003
特別損失合計	-	2,003
税引前四半期純利益	322,278	345,069
法人税等	115,471	132,127
四半期純利益	206,807	212,942

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月22日及び平成27年6月9日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期会計期間において有償一般募集増資による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ105,570千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が271,020千円、資本剰余金が221,020千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,810,202	172,951	1,983,154	1,983,154	—	1,983,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,810,202	172,951	1,983,154	1,983,154	—	1,983,154
セグメント利益	337,609	126,277	463,886	463,886	△142,066	321,820

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△142,066千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,052,639	152,148	2,204,787	2,204,787	—	2,204,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,052,639	152,148	2,204,787	2,204,787	—	2,204,787
セグメント利益	447,422	107,855	555,278	555,278	△204,208	351,070

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△204,208千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。